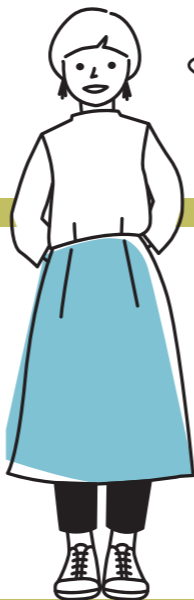




リノベーションまちづくりで変わり始めたまちを楽しもう!



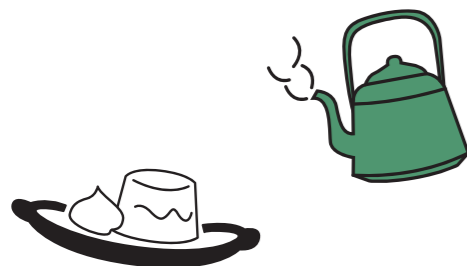
SOKA

RENOVATION

MACHIDUKURI

GUIDE BOOK

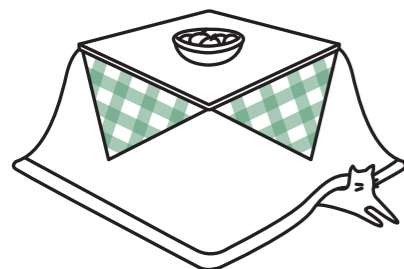
2023



まちのことがジブンゴトになる



まちを知ると日々の暮らしが豊かになる



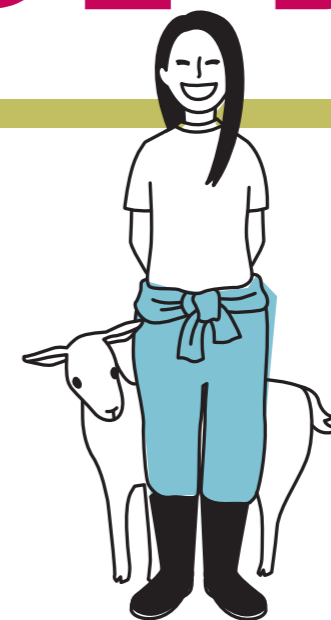
Instagram



Facebook



— そうかリノベーションまちづくりのことを
さらに知りたい方はこちらをチェック!



リノベーションまちづくりとは？

まちのことをよく知り、まちの方とのつながりや、自分のやりたいことを活かしながら、地域経営課題の解決を目指し、今ある地域資源を活用し、志ある市民によりまちの新たな魅力となるコンテンツの創出を通して「ほしい暮らしは自分でつくる」を実践する。市民自らの活動による新たなコミュニティの創出、そして、まちへの愛着と共感の輪の広がりからさまざまな取り組みが絡み合うことで、まち全体の魅力が高まっていく。

リノベーションまちづくりの4つの特徴

01 収益性が高く、スピードが早い

今あるものを活かし、新しい使い方をしてまちを変える

02 民間主導の公民連携

リノベーションまちづくりは、民間主導でプロジェクトを興し、行政が支援する

03 都市・地域経営課題を複合的に解決

遊休不動産という空間資源と地域資源を活用して、民間自立型プロジェクトを興して地域を活性化させる

04 補助金にできる限り頼らない

経済合理性を追求する



どうして草加市ではリノベーションまちづくりを推進することになったの？

東京のベッドタウンとして繁栄してきた草加市。しかし、「市内で楽しむ場所がない」「家があるだけでまちに愛着がない」「職場も買い物する場も遊ぶ場もすべて市外」という住民が少なくなく、『寝に帰るだけのまち』になっていました。『寝に帰るだけのまち』としての草加市は、次のような課題を抱えています。

01 市民間、世代間、市民と学生におけるコミュニティの不足

地元に対する愛着の差から交流が不足しています

02 公共不動産の利活用の必要性

行政サービス需要の増加とそれに伴う歳出増加を支える「公共不動産の利活用」の必要性が生じています

03 都市型産業の不足

行きたい店、交流する場、ライフスタイルに合わせた働く場が不足しています

04 寝に帰るだけのまち

アクセスの良さからも、周辺都市に生活の豊かさを求め、寝に帰るだけのまちになっています



こうしたさまざまな課題を解決する方策として、草加市は2015年度からリノベーションまちづくりの推進をスタートさせました。

これまでに誕生したまちの新たなコンテンツを見てみよう！

野菜とお酒のバル スバル



草加市住吉 1-3-26-1F

キッチンスタジオ アオイエ
[株式会社 aoie]



草加市高砂 2-20-7

洋食屋 アターブル



草加市住吉 1-11-66

スバル

野菜料理を楽しめるバル。草加産野菜を中心に地場のおいしい野菜料理を提供。メニューは入荷した野菜次第で変化する。まちを照らす提灯のような場所。

アオイエ

「食卓を共にすること」に重きをおいた料理教室。繋がりを意識した料理教室やイベントを運営。レンタルスペースとして借りることもできる。

Atarburu

都内のホテルで20年以上修業したシェフによる子連れ家族でも楽しめる王道を極めた本格洋食屋さん。こだわりのデミグラスソースをベースにしたハンバーグやオムライスが絶品。

シェアアトリエ つなぐば
[つなぐば家守舎 株式会社]

1Fは子連れで働けるシェアアトリエと子どもスペースのあるカフェ。2Fは木のおもちゃと託児室、美容室、設計事務所、展示室を併設。目の前には公園が広がる。「仕事につながる/母親につながる/地域につながる」の3つを軸に運営している。

ecoma

ecoma coffee
[株式会社カフェイネイチャー]

スペシャルティコーヒーの専門店。産地にもこだわり選び抜いた豆を丁寧に自家焙煎している。店主夫婦の人の良さや笑顔が魅力で近所の常連さんも多く、地域の方と挨拶を交わす様子がよく見られる。

TORINO'S
Coworking space Torino's
[ネスティング 株式会社]

現役の行政書士が運営する草加市初のコワーキングスペース。地域の人が新たに何かを始めようとする時に、仲間と出迎え、気軽に相談できる場所。



草加市八幡町 935-4



草加市高砂 2-20-35

SOSOPARK

[株式会社 奏草舎]
常設店にコロネカフェ「SOSOCAFE」、焼売と焼鳥の「つつみ家 なすび」そしてキッチンカーやポップアップストアが日々入れ替わる参画スペースが併設されたコミュニティパーク。人々がふらっと立ち寄れる小さな公園のような空間が魅力的な場所になっている。



草加市高砂 1-10-3-1

おーぐぱん



草加市神明 1-2-31

パカン PAKAN



草加市中央 2-2-20-002

おーぐぱん

地域の人に愛される「人と人を繋ぐまちのパン屋さん」。かつて地域の人が集まる店があった場所に、パン屋として新しい命を吹き込む。埼玉県産小麦ハナマンテンを使用したパンもあり、素材にもこだわったパン作りをしている。

パカン

やさしいおやつとコーヒーを提供するカフェ。放課後に、仕事帰りに、ちょっと一息休みに。あらゆる年代の地域の人々が自然と集まるような場所。

草加宿 今様本陣



草加市神明 1-6-18

草加宿

1階は草加の名産品を中心に新鮮な野菜等を扱う物産店。2階はワークショップや会議等に使えるレンタルスペース。旧道と草加松原の結節点から歴史と伝統を紡ぐ場所。

変わり始めたまちを見てみよう！

空間資源×産業・文化・歴史資源×人的資源

空き家や空き店舗等の遊休不動産、公共施設、交通アクセスの良さ、平坦な地形などの「空間資源」、ものづくり、地場産業、都市農業、音楽、草加松原、宿場町などの「産業・文化・歴史資源」、子育て世代、高齢者、学生、働き盛り世代などの「人的資源」をうまく活用し、まちの魅力となるコンテンツを創出することで、新しい暮らし方や働き方など「快適な暮らしのスタイル」を生み出し、地域経済の活性化やベッドタウンにおける新しい都市型コミュニティの形成を目指します。この実現のために、草加市では「そうかりノベーションまちづくり構想」を策定しました。



快適な暮らしのスタイル
(新しい暮らし方・働き方)

由緒ある数々の祭礼は、その伝統と歴史から、市民の地元に対する愛着を醸成することにつながります。祭礼を地域資源として捉え、地域の活性化に活かしていく必要があります。

農 都市農業

地産地消の推進、農業や農業者との触れ合いを通じた食育など、都市にいながらにして農業に触れることができます。(ガーデンテラスレストラン、農家レストラン、収穫体験、市民農園、直売所、マルシェ、マーケット等)



学 学ぶ

新しいことを学ぶということは新たな出会いやコミュニティを広げます。ものづくりの技術や地場産業の伝統、スキルあるセカンドライフ世代の方など誰もが先生になれ、誰もが学ぶことができます。(ものづくり教室、国際交流(英会話)、スポーツ教室、ベビーサイン、ダンス、音楽教室、学習塾、経営塾等)



遊 遊ぶ

老若男女を問わず共通の楽しみはコミュニティのきっかけになり、子どもが安心して遊べる場は子どもの創造性を刺激し、親が子どもを気にせず遊べる場は精神的なゆとりある生活を生み出します。(シェアスペース、子どもの遊び場等)

育 育てる

子育ては家で親御さんが行うだけではありません。まちの中にもたくさん教育の場、子育ての場があります。(乳児向け保育サービス、ベビーマッサージ、ママカフェ等)

宿 泊まる

1630年に開宿した草加宿において、草加市に暮らす市民の宿としてだけでなく、歴史的・立地的な側面を活かした宿は新たな交流を生みだします。(ゲストハウス、旅館等)

健 健康づくり

国指定名勝の草加松原ではジョギングやウォーキングが楽しめます。また豊かな食によっても健康増進を図ることができます。(お寺ヨガ、ヨガスタジオ、ウォーキングクラス、ラジオ体操、まちの保健室等)

創 創る

地場産業などの地域資源を活かしたものづくりや、創造的な活動によるものづくり、手仕事など、創造的なアイデアを形にすることで、誰もが活躍できます。(シェアアトリエ・月3万円ビジネス、ハンドメイド、アートクラブ、音楽等)



食 食べる

子どもと一緒に安心して行けるお店、安全で安心な地元産の食材を食べられるお店、食べること以外にも楽しみがあるお店、多種多様な飲食の場が生活を豊かにします。(カフェ、焼き立てパン、ワインバー、スポーツバー、定食屋、地産地消レストラン、BBQ、ビアガーデン、動物カフェ等)

そうかりノベーションまちづくり構想

そうかりノベーションまちづくり構想では、空間資源×産業・文化・歴史資源×人的資源を掛け合わせ、「暮らしのスタイルを創る10のコンテンツ」を生み出し、快適な暮らしのスタイルの創造を目指していきます。構想の策定にあたっては、そうかりノベーションまちづくり構想検討委員会に多くの市民の皆さんが参画し、公民一体となって作成しました。

「僕がおいしいと思ったものを。」

そうかりノベーションまちづくり構想検討委員会の様子

西早稲田「こだわり商店」の安井浩和さんの講演

構想策定に至るまで

● そうかりノベーションまちづくり構想の位置づけ

2015年に策定された第四次草加市総合振興計画基本構想(以下、基本構想)では、草加市が目指す都市像として、「快適都市～地域の豊かさの創出～」を掲げ、第四次草加市総合振興計画基本計画(以下、基本計画)では、都市像を実現するための基本的要素の一つとして「活気の創出～にぎわいのあるまちをつくる」と示されています。

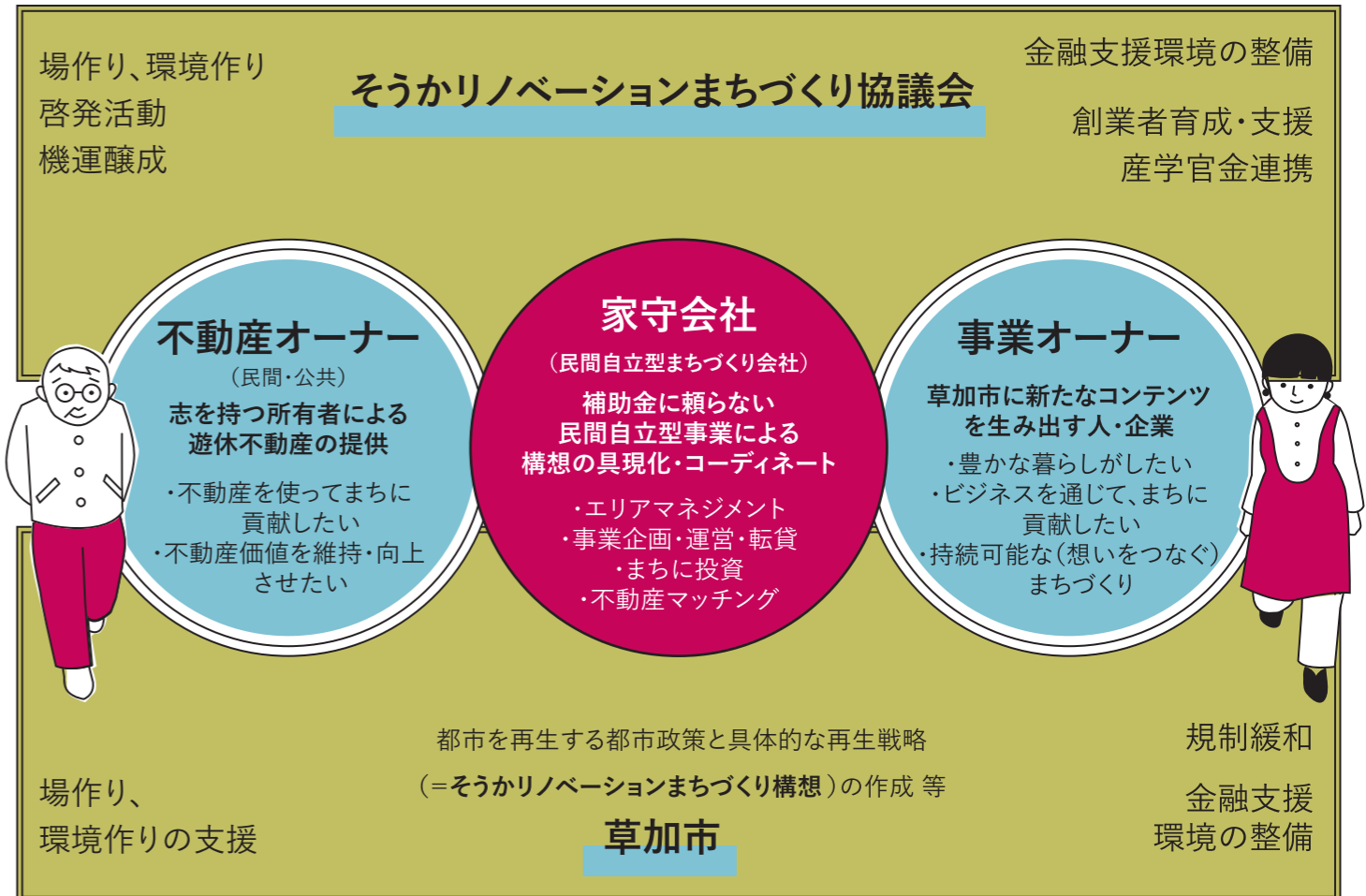
さらに、草加市では「草加市版総合戦略(以下、総合戦略)」を策定し、本市における人口減少の克服と地域の活性化、まち・ひと・しごとの創生と好循環の確立を目指すこととしています。そして、産業振興分野の個別計画である草加市産業新成長戦略(以下、産業戦略)は、総合戦略における産業振興分野のアクションプランとしても位置付けられています。

そうかりノベーションまちづくり構想は、リノベーションまちづくりが総合戦略及び産業戦略の主要施策として位置付けられたことから、その目的や進め方について公民連携の体制で検討し策定したものです。この構想を具現化し、地域の活性化を通じて基本構想にある「快適都市-草加-」の実現を目指します。



そうかりノベーションまちづくり協議会

そうかりノベーションまちづくり構想を実現するため、そうかりノベーションまちづくり構想検討委員会の委員を中心に、2016年5月20日に設立されました。現在では、リノベーションスクールから生まれた家守会社等やそうかりノベーションまちづくりに共感する人などが加入し、相互に協力しながらリノベーションまちづくりを進めています。



草加でリノベーションまちづくりがスタートしてから8年が経過し、これまでにスクール案件で10件の新しい店がオープンしました。リノベーション手法を活用した草加宿今様本陣も開所できました。SDGsの理念に沿った持続するまちづくりが徐々に根付き始めています。谷塚家守塾を通して、谷塚・瀬崎エリアにもリノベーションの考え方が浸透し、スクールも開催されています。フレッシュなプレイヤーを迎えてまちが活性化する予感がしています。これからも「そうかりノベーションまちづくり」へのご協力をよろしくお願いいたします。



そうかりノベーションまちづくり協議会
会長 長谷部 健一

リノベーションまちづくりのエンジン



リノベーションスクール

リノベーションスクールとは、参加者が6人程度の「ユニット」と呼ばれるグループに分かれて、公共空間や遊休不動産、実際のビジネスプラン等を題材に、リノベーションまちづくりの第一人者である講師陣のアドバイスを受けながら地域経営課題を解決する事業計画を3日間かけて作成し、最終日には、地域の方々や不動産オーナーに事業化を前提とした公開プレゼンテーションを行う「短期集中実践型スクール」です。
地域に必要なサービス、まちで暮らす人々が豊かになるビジネス、まちに面白い人が集まる仕組みなどを検討し、事業計画の実現を目指します。

リノベーションスクールの主なプログラム



01 まち歩き

対象エリアや案件をユニットで歩いて、地域の人や不動産オーナーの話を聞いたりまちの魅力や課題を探ります。



02 ライブアクト

実際にまちに変化を与えるビジネスを展開している講師陣によるレクチャー。レクチャーからヒントを得て、ユニットワークでのビジネスの検討に活かします。



03 ユニットワーク

対象案件でエリアの課題解決に向けた実事業化する事業計画をユニットメンバーで検討します。



04 公開プレゼンテーション

練り上げた事業計画を対象案件のオーナーや地域の皆さんの前で発表します。公開プレゼンテーションの様子はYouTubeでライブ配信します。



第2回リノベーションスクール@やつかの公開プレゼンテーションはこちらから視聴できます。

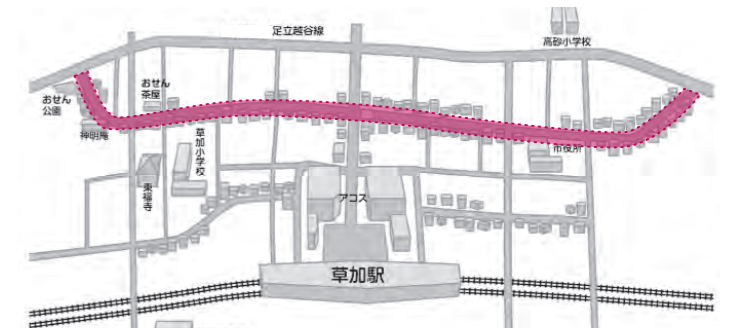
そうかりノベーションまちづくりで目指す未来像

対象エリア

リノベーションまちづくりでは、複数の事業を狭い地域に集中して、かつ短期間に展開することで、地域に変化を生み出します。そこで、そうかりノベーションまちづくり構想では、草加市の「都市核」であり、かつて、宿場があった地域でもある草加駅東口の旧道沿道エリアをモデル地域として設定し、3つのステップでその効果を波及させていくこととしました。

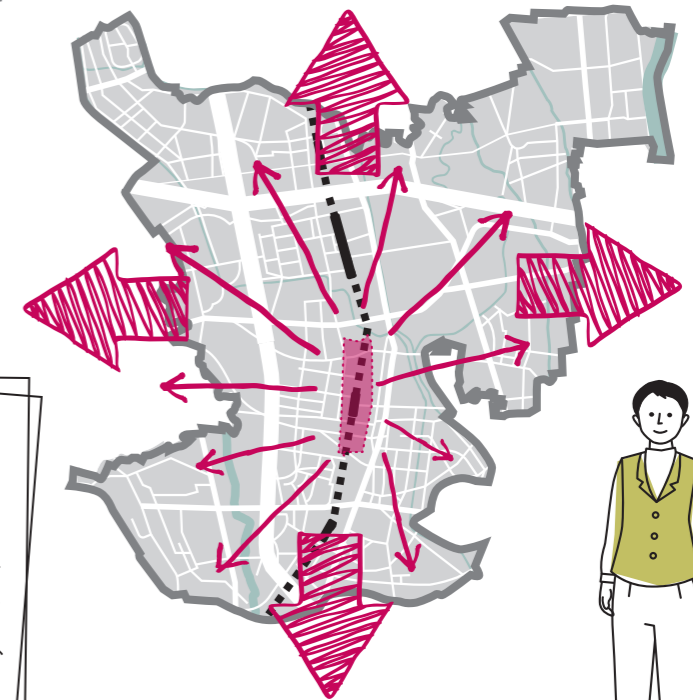
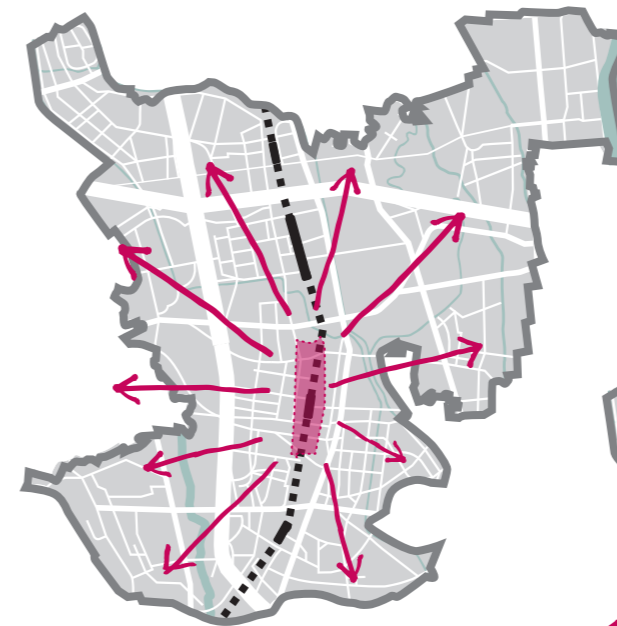
Step01

旧道沿道エリアをモデル地域としてリノベーションまちづくりを推進し、地域経営課題の解決に繋がるコンテンツを当該エリアの遊休不動産において具現化することで、対象エリアの活性化を目指します。



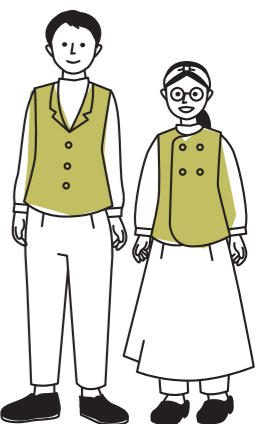
Step02

モデル地域での取組を生かし、市内他エリアにおいても、旧道沿道エリアで活動する家守会社や新たな家守会社が各地域の課題解決を目指すコンテンツの創出を図り、市内全域の活性化を目指します。



Step03

草加市での取組をベースに事業拡大する家守会社が、衰退の懸念のある東武スカイツリーライン沿線を中心とした周辺都市における取組を広げ、活性化効果を波及させることを目指します。



このまちにくらすよろこびをもっと

「マーケットの学校inそうか」開校

マーケットを主題にそうかの暮らしを考える

マーケットの学校は背景が異なる様々な人たちが集まり、自分たちの暮らし、そうかのまちのことについてマーケットを主題に話し合う対話型のワークショップです。買い物の仕方が少し変わるだけで、自分の暮らしやまちの経済循環は変わっていきます。「顔の見える経済循環」はまちに暮らす一人ひとりが生み出すことができます。そんなきっかけを、参加者同士で対話を重ねながら探ってきました。

マーケットの主催者、出店者、買い物に来る人、興味がある人、そうかに関わる企業の人も。それぞれが日々の暮らしの中に「顔の見える経済循環」があるあたかさを対話の中で感じました。そんな循環が育まれているそうかで、マーケットを主題にそうかの暮らしを考えた参加者たち。そこで感じたこと、気づいたことを大切に、「顔の見える経済循環を駅前で」を表現するマーケットを参加者が中心となり草加駅前で開催しました。

マーケットの学校inそうかは
Term1:みんなでマーケットについて考えてみよう!
Term2:マーケットをやってみよう!
の2部構成で開催しました!

Term1:みんなでマーケットについて考えてみよう!

みんなが好きなマーケットを発表して、そうかでこんな日常があったらいいなを共有して「そうかで暮らす自分らしさ」を考えるTerm1!

キーワード
がんばってるけど、がんばりすぎないマーケット
日常か非日常か
共有している安心感
消費の楽しさを取り戻す など

TERM1



「そうかで暮らす自分らしさ」というキーワードをもとにみんなで考えてみる。



そうかでマーケットが開催できそうな場所をみんなで出し合っ
て地図にしてみました!

つなぐば家守舎(株)代表の小島直さんをお招きしてマーケットのあるそうか暮らしについてのレクチャー。



地図にしたところに行ってみる!



みんなで地図にしたところ実際に歩いてみて、どんなことができそうか、Term2「マーケットをやってみよう!」に向けて妄想を膨らませます。



Term2:マーケットをやってみよう!

Term2で参加者同士の対話をとおして見えてきた、あったらいいなと思うそうかでの暮らしやマーケットがある日常を、実際にマーケットをやってみることを目指しながら考えていきます。

Term1の振り返りとマーケットでみんなが実現したいことを話合いました!



&green market(北本市)視察会

マーケットの学校を契機に生まれた北本市の「&green market」を視察して、ゆるやかな繋がりが生まれるマーケット、心地よい空間のヒミツなどを学びました。そうかで暮らす自分らしさの実現に繋がる気づきがたくさんありました!



臨時出店届とは?
火器を使う際の届け出は?
マーケットの開催については確認することがたくさん!



マーケットの実践は草加マルイさん店頭周辺をお借りした開催に決定!開催に向けて出店やレイアウトを決めていきます!

マーケットの学校inそうか実践編

普段は通行人や商業施設利用者が行き交う草加駅前由来場者との対話によって顔の見えるマーケットの実現にチャレンジしました!



TERM2

谷塚駅周辺エリアでもリノベーションまちづくりの取り組みは広がりを見せています。「リノベーションスクール」をきっかけに、地域の人を巻き込みながら新たな魅力を創出するユニットがいくつも誕生。小さな活動ながらも着実に、その歩みをヤツカノミライに向けて進めています。

● ヤツカ×地域プロジェクト

谷ツツカー

「第1回リノベーションスクール@やつか」から誕生した「谷ツツカー」は、地域の商店と協力して様々なイベントを開催。そのひとつ「ヤツカノアイ」は、福祉施設の障がいのある方たちと一緒に、谷塚で育てた蓼藍(たであい)で生葉(なまは)染めをするワークショップを開催しました。また、「ヤツカノアソビバ」では商店の軒先を活用するなどして、「遊び」を通じて多世代の方が集えるコミュニティの場を生み出しています。



やつかや

「やつかや」も「第1回リノベーションスクール@やつか」から誕生したユニットのひとつ。谷塚にある空き家の庭を開放し、夏祭りイベントを開催するなど、地域の人たちが気軽に立ち寄れるコミュニティを創出しています。



おこたCLUB



「第2回リノベーションスクール@やつか」から誕生した「おこたCLUB」は、谷塚駅西口まちづくり用地の新しい活用方法を考えながら、地域コミュニティの創出を目指すユニット。谷塚駅周辺エリアにある地域資源の認知と活用、地域経済の活性化、地域コミュニティの形成を目的に、駅前の広場にこたつを並べて新しい景色をつくる「おこたCLUB」を開催しました。「おこたCLUB」の取り組みに触発され、地元商店会の有志たちも谷塚駅西口まちづくり用地を活用してイベントを開催することに。その他にも、地域の様々な方があの場所に新しい景色をつくりたいと、立ち上がろうとしています。はじめは小さな一滴でも、それが大きな波状となって谷塚のまちに広がりを見せています。

草魂祭



学生イベント



草加ローカルプロジェクト



● 学生×地域資源

学内商店会フェア

リノベーションスクールの舞台になっている谷塚駅周辺エリアでは、文教大学東京あだちキャンパスに通う学生たちによる様々な地域プロジェクトが地元企業や商店を巻き込んで実施されています。学生たちは、実際にまちに飛び出して地域の魅力を体験し、自分たちが感じた谷塚の魅力を伝えるため、様々なプロジェクトを展開しています。谷塚駅東口商店会に加盟する飲食店のお弁当が大学構内で食べられる「学内商店会プロジェクト」や、リノベーションスクールのメンバーとコラボして、ボードゲームで子どもも大人も年齢関係なく遊べるコンテンツをイベントで出店するなど、学生たちが主体的に地域の人やお店と関係性をつくり、様々なプロジェクトが展開されています。



トピック 1 さいかちどブンコ



つなぐば家守舎が手がける第二号案件となる、「さいかちどブンコ」が2022年6月にオープンしました。さいかちどブンコは、一箱本棚オーナー制の図書館で一定の大きさの本棚を近隣の方々に借りていただきみんなでまちに参画(運営)していく図書館です。今は地域で集まれる場所も少なく、草加市では図書館は一つしかありません。この図書館では様々な人が交わる場だけでなく、想いもつなげる場になってほしい。【ここから地域の日常につなげる】八幡町のブンカ発信拠点をつくっていきます。つながるではなく、つなげる。つなぐばが八幡町に来たことで、その町にキザシが見えてきました。



トピック 2 リノベーションまちづくりの様々な関わりしろからまちを楽しむ新しい風が吹いてきた

市内経済循環率約64%のまち草加で、そのハブとなる、地域密着型ビジネスの広がりが、豊かな日常を創り出す「お金の使いかた」を提案しました。それは、販売者・生産者と消費者というステレオタイプではなくだれもが、このまちの未来の当事者であり、だれもが、できることを通じて、自らの暮らしを創ることができる、ということを証明してくれました。そうカリノベーションまちづくりは、消費者から「まちの投資者」に変わろうとしている市民と事業そのものを通じて、地域の発展に寄与する企業の参画を得て、そのアクセスポイントを多様化しながら、「顔の見える経済循環」の実現に向けて、その歩みを加速します。



そうかリノベーションまちづくり沿革

2013年度

「草加駅東口周辺にぎわい創出調査」の実施

- ・草加駅東口周辺ににぎわいを創出させ、「つよいまち草加」の実現を進めるために調査を実施

2014年度

「草加駅東口周辺にぎわい創出基本計画」策定に向けた庁内調整会議設置

- ・庁内調整会議を設置し、全3回の会議を開催
- ・地域住民、町会、商店会、各種団体等のヒアリング実施
- ・各種ヒアリングにより、計画策定よりもまちの変化、つまり実事業の推進を求める声を認識

2015年度

草加駅周辺市街地活性化事業として「リノベーションまちづくり」の普及啓発

- ・リノベーションまちづくりの普及啓発と担い手の発掘・育成（「キック・オフ・ミーティング」「そうか 実践!家守塾」、その他講演会2回開催）
- ・リノベーションまちづくりによって目指すべき将来の方向性や目標を明確にした「そうかリノベーションまちづくり構想」の検討（第1～4回検討委員会開催）

2016年度

草加駅周辺市街地活性化事業として「リノベーションまちづくり」の実践 草加初の家守会社設立、リノベーションスクールから第1号案件オープン

- ・リノベーションまちづくりの普及啓発と担い手の発掘・育成（職員向け講演会、まちのトレジャーハンティング@そうか、まちの学校vol.1～3開催）
- ・第1回リノベーションスクール@そうか開催
- ・「そうかリノベーションまちづくり構想」の策定（第5～7回構想検討委員会）
- ・草加初の家守会社「そうか家守センター株式会社」及び「株式会社奏草舎」設立
- ・リノベーションスクール第1号案件「野菜とお酒のバル スバル」オープン



● 第1回RSそうか

2017年度

草加駅周辺市街地活性化事業として「リノベーションまちづくり」の実践 家守会社初主催のマーケット開催

- ・リノベーションまちづくりの普及啓発と担い手の発掘・育成（まちの学校vol.4～6、番外編開催）
- ・第2回リノベーションスクール@そうか開催
- ・株式会社奏草舎主催「soso market」開催・家守会社「株式会社aoie」及び「つなぐば家守舎株式会社」設立



● 第2回RSそうか

2018年度

草加駅周辺市街地活性化事業として「リノベーションまちづくり」の実践 リノベーションスクール対象案件等6案件の事業化

- ・リノベーションまちづくりの普及啓発と担い手の発掘・育成（まちの学校vol.7～10開催）
- ・リノベーションスクール案件「SOSOPARK」「シェアアトリエつなぐば」「キッチンスタジオアオイエ」「洋食屋アターブル」「ecoma coffee」「Coworking space Torino's」オープン
- ・リノベーションまちづくりさんぽ（リノさんぽ）開催
- ・家守会社「ネスティング株式会社」及び「合同会社そうか家守舎」設立
- ・第3回リノベーションスクール@そうか開催



● 第3回RSそうか

2019年度

草加駅周辺市街地活性化事業として「リノベーションまちづくり」の実践 リノベーションスクール対象案件2案件の事業化

- ・リノベーションまちづくりの普及啓発と担い手の発掘・育成（まちの学校vol.11～13開催）
- ・リノベーションスクール案件「おーぐばん」「PAKAN」オープン
- ・第4回リノベーションスクール@そうか開催（新たな取組として「公共空間利活用 コース」を設置）



● 第4回RSそうか



6月/vol.11



7月/vol.12



9月/vol.13

2020年度

草加駅周辺等市街地活性化事業として草加駅東口周辺に加え 新たに「谷塚駅周辺」にも展開

草加初の都市再生推進法人指定、谷塚家守塾ヤツカノキザシ編の開催

- ・アコス株式会社及び特定非営利活動法人今様草加宿を草加市初の都市再生推進法人に指定
- ・リノベーションまちづくりの普及啓発と担い手の発掘・育成（まちの学校vol.14～16開催）
- ・リノベーションまちづくりを谷塚駅周辺エリアにおいて進めるにあたり、谷塚のポテンシャル、まちの要素を洗い出すとともにターゲットを明確にする谷塚家守塾ヤツカノキザシ編を開催



11月/vol.14



12月/vol.15



1月/vol.16

2021年度

草加駅周辺等市街地活性化事業としての地域展開の本格化

リノベーションスクール対象案件1案件の事業化、谷塚家守塾ヤツカノ ミライ編の開催、谷塚駅周辺エリアで初のリノベーションスクール開催

- ・リノベーションまちづくりの普及啓発と担い手の発掘・育成（まちの学校vol.17～19開催）
- ・リノベーションまちづくりを谷塚駅周辺エリアにおいて進めるにあたり、谷塚駅周辺エリアのポテンシャル、強みや弱みなどを整理してエリアのビジョンを検討する谷塚家守塾ヤツカノミライ編を開催
- ・第1回リノベーションスクール@やつか開催（「ローカルコアビジネスコース」と「エリアマネジメントビジネスコース」を設置）
- ・リノベーションスクール案件「草加宿 今様本陣」オープン



● 第1回RSやつか



6月/vol.17



8月/vol.18



8月/vol.19

2022年度

草加駅周辺等市街地活性化事業としての地域展開の本格化

マーケットの学校inそうか開催、谷塚駅西口まちづくり用地を活用した イベントの開催

- ・リノベーションまちづくりの普及啓発と担い手の発掘・育成（まちの学校vol.20～22開催）
- ・第2回リノベーションスクール@やつか開催（スクール修了生が谷塚駅西口まちづくり用地を活用したイベントを開催）
- ・マーケットの学校inそうか開催
- ・企業版リノベーションスクール啓発講演会開催



● マーケットの学校



● 第2回RSやつか



7月/vol.20



9月/vol.21



9月/vol.22



● 2月/企業版